

なすまどか議員が一般質問を行いました

2月22日、なすまどか議員が一般質問を行いました。熊本地震被災者への支援、国保料の引き下げや減免制度の拡充、子どもの医療費の完全無料化、立野ダム建設についての住民説明会の実施などを取り上げました。



震災からの復興・復旧について

被災者への医療費減免の復活を！

大西市長は、昨年9月末をもって、被災者への医療費減免、国保・介護・後期高齢者医療の保険料減免を打ち切りました。

なす議員は「減免打ち切りを境に、受診抑制が起こっていることを県が実施した健康調査の意結果も示しながら、被災者が、受診を我慢し、健康悪化を

招いたり、命を落とすようなことは絶対にあってはならない。医療減免を復活させるべき」と質しました。大西市長は、「国保加入者以外の税金も投じることになることを理由に減免制度の復活は困難」と被災者の実態に目を背ける答弁を行いました

未だ修繕ができない…自宅再建に市独自の支援を！

一部損壊と認定された方の7割が何ら支援を受けていません。なす議員は、「一部損壊の方の修繕やリフォームに補助を行う制度を創設すべき」と質しましたが、実現に向けた答弁はありませんでした。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか 山部ひろし

熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 1133
2019年3月3日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索

仮設住宅からの追い出しを迫る条件設定はやめるべき！

熊本県は、仮設住宅の4年目の延長条件から、民間賃貸住宅希望者と一般の公営住宅希望者を外し、自宅再建のみ延長を認める方針を決めました。

現在、仮設入居者で、民間賃貸を希望されている方からは、地震前と同水準の家賃の物件が見つからない、子どもの通学の関係で震災時と同じ校区内で物件を探しているが見つからない。ペット同居可物件が見

つからない、低層階の物件が見つからない、住み慣れた地域での物件を探しているが見つからない。こうした理由が、2つも3つも絡み合って、仮設退去後の生活を心配されている方が多くいらっしゃいます。

なす議員は、「仮設からの退去＝生活再建ではない。民間賃貸や公営住宅希望者も延長要件に加え、入居延長を希望される方は認められるよう条件を改善すべき」と指摘しました。

地震により被害を受けた生活道路の早急な整備を！

地震による道路のうねりやひび割れ、道路の沈み込みによるマンホールの段差、振動の発生など、様々な改善要望が市民の方々から寄せられています。

なす議員は、生活道路の改善に向け、早急な対応を求めました。市からは「実施時期を明確にする

など、出来るだけ早急に対応したい」との答弁が寄せられました。



歴代市長の 2 倍以上の大型ハコモノ・11 年間で 1577 億円

前市長の 3 期 12 年間で 670 億円、前々市長の 2 期 8 年で 490 億円

上野みえこ議員は、2 月 26 日の予算決算委員会総括質疑で、大西市長のすすめる大型ハコモノ優先と市の財政運用について質しました。

歴代市長の中で、群を抜く、大型ハコモノ等への投資

質疑では、10 億円以上の大型投資事業は、三角市長の 2 期 8 年間には 490 億円、幸山市長の 3 期 12 年間で 670 億円と説明されました。大西市長の熊本地震後の 11 年間は、災害復旧関連以外の事業だけでも 1171 億円という見通しです。(市営住宅・教育施設は優先してと考えますが) 歴代市長の時代と比べても群を抜く勢いの大型ハコモノ投資です。

熊本市の市税収入・財政力は政令市で最下位

財政課が発行している「財政ってなあに？」では、「市税収入額は、指定都市 20 市中最下位で、唯一 1000 億円を下回っている」、合わせて財政力指数も指定都市中最下位で財政的な自立度が低いと指摘しています。

大型ハコモノ優先で、市民サービス低下は許されません

上野議員は、市長に「大型ハコモノ優先で市民サービス低下を招くことは許されない」と迫りました。大西市長は、「市民サービスの低下を招くことなく」すすめていくと答弁したので、上野議員は、「その言葉を忘れないように」と釘を刺しました。

今後予定されている 10 億円以上の施設整備事業の見通し

項目	総事業費	建設年度
市役所本庁舎建て替（現地建替）	405 億円	2024～2026 年度
熊本城ホール整備	290 億円	2016～2019 年度
桜町再開発事業への補助	126 億円	2016～2019 年度
熊本駅白川口（東口）駅前広場	90 億円	2018～2020 年度
市電延伸	100 億円	2022～2025 年
シンボルプロムナード・花畑広場等	24 億円	2019～2021 年度
市営住宅建て替え（2 団地）	43 億円	2022～2024 年度
特別支援学校建設（小中学部）	15 億円	2018～2019 年度
富合小学校校舎改築	25 億円	2021～2023 年度
帯山中学校校舎改築	18 億円	2022～2024 年度
千葉城町 J T・NHK 跡地保存活用	35 億円	2021～2023 年度
東部環境工場の基幹的整備改良	未定	未定

***住宅や教育施設は優先して整備すべきです！**

(災害復旧関連)

花畑別館建替	40 億円	2021 年度
城南まちづくりセンター棟複合施設	11 億円	2019～2020 年度
災害公営住宅（8 カ所）	90 億円	2017～2019 年度
中学校施設災害復旧（東野中）	17 億円	2018～2019 年度
高等学校施設災害復旧（必由館高校）	13 億円	2018～2019 年度
熊本城災害復旧	669 億円	2017～2037 年度
市民病院建替	235 億円	2017～2019 年度